SY shin-yoko.net

新横浜新聞（しんよこ）

2022年7月1日（第5号）

夏号

新横浜・大豆戸・菊名・大倉山・新羽など港北区近郊エリアの「地域インターネット新聞」ダイジェスト版です

shin-yoko.net

ネットで注目の話題

相鉄・東急「新横浜線」地下で進む駅工事、3月開業へ急ピッチ

相鉄・東急直通線「新横浜駅」の地下3階（6月13日撮影）

新横浜駅前の地下深く、2023年3月に開業を予定する**相鉄・東急直通線（新横浜線）の「新横浜駅」**では、出入口とホーム階を結ぶエレベーターやエスカレーターといった**駅設備の工事**が急ピッチで進行しています。

相鉄と東急に加え東京メトロや都営も乗り入れる

新横浜駅は、環状2号線の地下約33メートルの位置にホームを置く**地下駅**。改札口のある**「地下1階」**から、列車が発着する**「地下4階」**まで4層構造です。トンネルやホームなど駅の構造物をつくる**土木工事**はすでに終え、現在は電気や内装、エレベーターやエスカレーターといった設備工事の真っ最中。

地下4階では**2つのホームに3線のレール**が敷かれ、中央部分には**始発着が可能な線路**もすでに敷設。工事関係者が「1～2週間のうちに駅の様子はがらりと変わっていることが多い」というように、**開業に向け工事は順調に進んでおり**、来年3月には日吉駅から東急線を経由し、東京メトロ南北線や副都心線、都営三田線などへ直結します。

地域のニュース

● 高所でも浸水危険、「内水ハザードマップ」公開

横浜市総務局は6月1日に**「洪水」「内水（ないすい）」「高潮（たかしお）」**のハザードマップ3種類をインターネット上で公開するとともに、港北区版**「浸水ハザードマップ」**として1つにまとめ、7月中に各家庭へ初めて配布する予定です。

● 大倉山の小沢さん、師岡の鈴木さんが新会長

大倉山は小沢会長（後列中央）が就任

港北区内13エリアの**「区連合町内会」**で、新年度より**大倉山の小沢義雄会長**（市之坪町会）、**師岡の鈴木大成（ひろしげ）会長**（師岡南町内会）、**高田の相沢一夫会長**（高田町内会）が就任しています。

● 「自転車」指導啓発重点地区は菊名と新横浜

神奈川県警は、2022年中に交通指導取締りの強化を行う**「自転車指導啓発重点地区・路線」**として、港北警察署管内では**菊名・新横浜**地区を選定。**踏切での立入り違反**などの危険行為も目立つことから、**取締りを重点的に強化**する計画です。

『わがまち港北』番外編が完結

港北区の歴史エッセー書『わがまち港北』（出版グループ刊）の「番外編」として2021年1月から連載をスタートした**「【わがまち港北番外編】こうほく歴史まち歩き」**が7月で完結します。

この連載は、2009年の港北区制70周年を機に刊行が始まった**書籍『わがまち港北』の第2巻**以降の執筆に加わった「大倉精神文化研究所」研究員の**林宏美さん**が担当し、**港北区内を12エリア**に分け、15回にわたってエッセイ記事を掲載。

日吉、菊名、綱島、篠原、高田、大倉山、樽町、新羽、新吉田、城郷（小机・鳥山・岸根）、大曽根、そして最終回の師岡地区に至るまで、林さん自身が歴史をたどりながら実際に街を歩き、地域の史跡や見どころ、現在の様子も含めて各回の連載に盛り込みました。

地域の歴史と今が詰まった連載は、**「わがまち港北番外編」**でキーワード検索すると、全記事をご覧いただけます。

【発行者より】「新横浜新聞～しんよこ新聞」は、2016年7月の創刊から6周年。インターネット上で情報を発信中です。港北区北部エリアの「横浜日吉新聞」とともに、来年3月に予定されている「相鉄・東急直通線」の開業についても伝えてまいります。

【発行元】一般社団法人 地域インターネット新聞社
横浜市港北区箕輪町2丁目7-60-2C

【裏面もご覧ください】

「しんよこ新聞」はパソコン・スマートフォン・タブレットでどなたも無料で読めます　しんよこ新聞　検索

一般社団法人地域インターネット新聞社 shin-yoko.net

「相鉄・東急直通線フォーラム～開業後の“未来を語る”」を開催します

一般社団法人地域インターネット新聞社（箕輪町2、橋本志真子代表理事）は、今夏8月19日（金）14時から16時20分まで（13時30分開場、終了時刻とともに予定）、公開イベント「相鉄東急直通線フォーラム～開業後の“未来を語る”」を、慶應義塾大学日吉キャンパス協生館内「藤原洋記念ホール」（日吉4、東急東横線・目黒線 横浜地下鉄グリーンライン日吉駅徒歩約1分）で開催します。

● 相鉄・東急直通線は2023年3月開業予定

来年3月に「相鉄・東急直通線（相鉄新横浜線・東急新横浜線）」の開業が迫るなか、日吉や綱島、新横浜、そして羽沢横浜国大駅周辺の**地域まちづくり関係者**や**影響力が強い方々**にご登壇いただき、**開業に向けた想い**や、開業後3年、5年、10年後といった「**未来への夢**」を語ってもらい、地域の人々と共有できる催しにできればと考え企画をスタート。

「藤原洋記念ホール」は慶應義塾大日吉キャンパス内（日吉駅前）にある

日吉駅、新綱島駅、新横浜駅から羽沢横浜国大駅までのエリア内で、駅からアクセスが近い場所、かつ「コロナ禍」でもソーシャル・ディスタンスの確保が可能な会場としての「**藤原洋記念ホール**」を選定。

今回の企画にあたっては、同線の整備主体として鉄道建設工事をおこなう**独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（鉄道・運輸機構）**の協力を得ながら準備を進めています。

●「新横浜線」沿線をつなぐチャレンジ

地域にポスター・チラシを配布

2018年度から2020年度まで3年間、**横浜市港北区役所**との共催（主催）で開催した、地域の人と人をつなぐ**イベント「港北つなぎ塾」**での開催実績や経験を活かし、地元・日吉や綱島、新横浜周辺の自治会・町内会など、**地域まちづくりをおこなう皆様**とともに開業までの道のりを歩む決意で企画をおこなっているところです。

「相鉄東急直通線フォーラム～開業後の“未来を語る”」特設サイト
（公式ホームページ：https://shinyoko-line.jimdofree.com/ ）

● 東急、相鉄や慶應義塾、横浜国大教授も

今回の「フォーラム」の実施にあたっては、下記登壇者（予定）が、**日々の取り組み**や「**地域まちづくり**」への想い、新路線の将来に向けた「**夢**」を披露する予定です。

●登壇者（予定順）●

- **日 吉 地 区：渡辺　広明さん**（流通ジャーナリスト・マーケティングアナリスト）
- **綱 島 地 区：池谷　道義さん**（綱島・池谷家16代当主・綱島東小学校元PTA会長）
- **新横浜地区：牧野内　隆さん**（F・マリノススポーツクラブ）
- **羽 沢 地 区：和田　勝己さん**（羽沢駅周辺地域まちづくり連絡会代表）
- **東急株式会社**
- **相鉄グループ**
- **慶應義塾大学：牛島　利明さん**（商学部教授・産業研究所副所長）
- **横浜国立大学：高見沢　実さん**（大学院都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門教授）

当日の参加申し込みは開催月の**8月1日（月）10時**より**インターネットで先着100人**を募集予定となっています。

また、港北区にまつわる映像作品を多数手がける「**港北ふるさとテレビ局**」が収録をおこない、後日のダイジェスト版公開も検討中です。

鉄道新線の開業にともない、どのような「地域まちづくり」が進むのか。まだおそらく多くの人々にとって想像がつかない、**“未知なる世界への誘い”**を、ぜひイベントの開催から感じていただき、未来への道筋をお近くの皆様と共有いただければ幸いです。

●「相鉄・東急直通線フォーラム～開業後の“未来を語る”」
特設サイト：https://shinyoko-line.jimdofree.com/
（主催）一般社団法人地域インターネット新聞社
港北区箕輪町2丁目7-60―2C　公式サイト：https://chiiki.club/

しんよこ新聞ではフェイスブック、ツイッター、LINE公式アカウント、インスタグラムでも日々情報を発信中です

「しんよこ新聞」はパソコン・スマートフォン・タブレットでどなたも無料で読めます しんよこ新聞 検索